

「職域口腔保健研究会」15年の歩み（1993年度～2006年度）

注）年度：3月～翌年2月

月	日	事業・活動内容
5	6	<p>【1993年度（平成5年度）】</p> <p>第66回日本産業衛生学会（横浜） 開催日： 1993年5月6日（木）～9日（日） 会 場： パシフィコ横浜（6～8日）、ゆうほうと（9日）</p> <p>「職域口腔保健研究会」が発会 第1回職域口腔保健研究会 自由集会 特別講演： 職域口腔保健への期待 青山英康（岡山大学・医・衛生）</p> <p>○世話人 海野勇造（大阪・開業） 河野啓子（東海大学（当時）、現四日市看護医療大） 西田和子（産医だ学（当時）、現久留米大） 藤田雄三（神戸製鋼所）代表世話人 渡辺達夫（岡山大学）</p>
3	22	<p>【1994年度（平成6年度）】</p> <p>第67回日本産業衛生学会（岡山） 開催日： 1994年3月22日（火）～24日（木）</p> <p>第2回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域歯科健康管理の検討 大部 浩（グンゼアパレル） 藤井智恵子（四国電力） 山田加寿子（福武書店）</p> <p>特別開催 ミニシンポジウム テーマ： 802運動と職域口腔保健 演 者： 河野慶三（富士ゼロックス） 福岡悦子（NTT岡山） 柳下澄江（コニカ小田原） 渡辺達夫（岡山大学）</p>
4	26	<p>【1995年度（平成7年度）】</p> <p>第68回日本産業衛生学会（名古屋） 開催日： 1995年4月26日（水）～29日（日） 会 場： 名古屋国際会議場</p> <p>第3回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域口腔保健とヘルスプロモーション 1. 愛知県の中企業における産業歯科衛生の現状 金山敏治（愛知県歯科医師会） 2. 大規模事業所における歯科健康教育の実践 吉田恭子氏、小林史典（東芝） 3. 鉄道会社における歯磨き習慣実態調査と指導 浦島里美（JR東日本）</p>
6	22	<p>【1996年度（平成8年度）】</p> <p>第69回日本産業衛生学会（旭川） 開催日： 1996年6月2日（日）～5日（水） 会 場： 旭川市民文化会館</p> <p>第4回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域口腔保健の評価 1. 厚生省保健事業評価マニュアルについて 渡辺達夫（岡山大・歯・予防歯科） 2. 産業保健からみた評価 尾崎哲則（日本大学歯学部）</p>

4	9	<p>【1997年度（平成9年度）】</p> <p>第70回日本産業衛生学会（富山） 開催日： 1997年4月9日（水）～11日（金） 会場： 富山県民会館 他</p> <p>第5回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域口腔保健とヘルスプロモーション 1. 事業所歯科保健活動とその経済的評価の試み 中道 勇（富山県歯科医師会） 2. 食品製造業における歯科健康管理の実践と評価 松木一美（雪印乳業）</p> <p>職域歯科保健フォーラム（1997年 東京） 主催 職域口腔保健研究会 後援 労働省、日本歯科医師会、中央労働災害防止協会 基調講演1. 職場における歯科保健の推進 藤岡道治（日本歯科医師会） 基調講演2. 健保組合における歯科保健事業 田島邦宏（健保連）</p> <p>シンポジウム： 職場の歯科保健 —その発展を願って— コーディネーター 藤田雄三（神戸製鋼所） 発言者 河野啓子（東海大学） 築山雄次（佐世保重工） 迫田朋子（NHK解説委員）</p>
4	22	<p>【1998年度（平成10年度）】</p> <p>第71回日本産業衛生学会（盛岡） 開催日： 1998年4月22日（水）～24日（土） 会場： 盛岡市勤労福祉会館、岩手県民会館</p> <p>第6回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域口腔保健の意義とその評価 1. 成人の健康状態と歯科疾患との関連性 木下由佳（岡山大学） 2. 勤労者のライフスタイルと歯周病との関連性 零石 聰（大阪大学） 3. 職域歯科保健活動の参加状況と歯科医療費との関係 市橋 透（ライオン歯科衛生研究所）</p>
5	2	<p>【1999年度（平成11年度）】</p> <p>第72回日本産業衛生学会（東京） 開催日： 1999年 5月2日（日）～4日（火） 会場： 東京ビッグサイト</p> <p>第7回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 企業における口腔保健活動 1. 歯周健康状態と全身健康状態、生活習慣および労働生産性の関連 加藤 元（日本アイ・ピー・エム） 2. 歯科健診後の事後措置システム構築の試み 森智恵子（日立製作所） 3. 産業従業員への歯口腔の健康維持と全身の健康に関する研究 藤森明伸（愛知県歯科医師会）</p>
4	23	<p>【2000年度（平成12年度）】</p> <p>第73回日本産業衛生学会（北九州） 開催日： 1999年4月23日（日）～26日（水） 会場： 西日本総合展示場、北九州国際会議場</p> <p>第8回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 歯科疾患と健康指標 歯科疾患と他臓器疾患との関連 渡辺達夫（岡山大学）</p>

		【2001年度（平成13年度）】
4	4	<p>第74回日本産業衛生学会（高知） 開催日： 2001年4月4（水）～7日（土） 会 場： 高知県立県民文化ホール</p> <p>第9回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 海外派遣労働者の歯科健康管理 1. 海外派遣労働者の口腔保健状況 尾崎哲則（日本大学歯学部） 2. 海外派遣労働者への口腔健康診断導入に向けて 桜庭幸夫（日本歯科医師会）</p> <p>○世話人の追加 市橋 透（ライオン歯科衛生研究所）、尾崎哲則（日本大学歯学部）、 加藤 元（日本アイ・ピー・エム）、桜庭幸夫（東京）、栗石 聡（大阪大学）</p>
		【2002年度（平成14年度）】
4	9	<p>第75回日本産業衛生学会（神戸） 開催日： 2002年4月9（火）～12日（金） 会 場： 神戸国際会議場 他</p> <p>第10回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 職域歯科保健活動への期待と展望 1. 歯科衛生士と保健師を中心とした活動事例 日笠理恵（福岡県市町村職員共済組合） 上野くみ子（日本予防医学協会） 2. 産業看護職を中心とした活動事例 堀井しづ子（富山地方鉄道健保組合） 3. 健診団体を中心とした活動事例 小川洋子（ライオン歯科衛生研究所）</p>
		【2003年度（平成15年度）】
4	23	<p>第76回日本産業衛生学会（山口） 開催日： 2003年4月23（水）～26日（土） 会 場： 山口市民会館 他</p>
4	24	<p>第11回職域口腔保健研究会 自由集会 テーマ： 歯科保健活動の成果を生かす ーどのような指標で評価し、次につなげるかー 日 時： 2003年4月24日（木） 18:00～20:00 会 場： ばるるプラザ山口 小会議室2（桜）</p> <p>1. 特別報告 歯周病予防とヘルスプロモーション 禁煙誘導 植岡 隆（福岡歯科大学） 2. 自由集会 歯科保健活動の成果をいかす ーどのような指標で評価し、次につなげるかー 1) 産業歯科に消極的な企業の立場から ー産業医が期待することー 加部 勇（古河電気工業（株）） 2) 効果的でインパクトのある口腔保健活動の進め方を考える 村松 淳（東京歯科大学） 3) 『お口の健康カルテ』を活用した歯科3ヶ年プログラム 児島典子、山中御鈴（HOYAグループ） 4) パネルディスカッション：効果測定の指標をどう定め、そしていかすか</p>

【2004年度（平成16年度）】

- | | | |
|---|----|---|
| 4 | 14 | 第77回日本産業衛生学会（名古屋）
開催日： 2003年4月14（水）～16日（金）
会 場： 名古屋国際会議場 |
| 4 | 16 | 職域歯科保健フォーラム
テーマ： これからの口腔保健
開催日： 2004年4月16日（金） 14:20～16:20
会 場： 名古屋国際会議場
1. 健康保険組合における歯の喪失の原因
森田一三（愛知学院大学）
2. 産業従業員における生活習慣と歯の健康づくり得点
忠津佐和代（川崎医療福祉大学）
3. 企業での口腔保健の展開
加藤 元（加藤 元（日本アイ・ピー・エム）
4. 海外勤務と口腔保健
櫻庭幸夫（日本歯科医師会）
5. 生活習慣と口腔保健
平山富美子（明海大学病院） |
| 4 | 16 | 第12回職域口腔保健研究会 自由集会
開催日： 2004年4月16日（金） 16:20～18:20
会 場： 名古屋国際会議場 H会場（211会議室）
1. 特別報告： 個人情報保護と職域健康情報の取扱い
杉森 裕樹（聖マリアンナ医科大学）
2. パネルディスカッション： 職域口腔保健活動の効果指標の標準化をめざして
1) 事業所歯科相談室活動で用いてきた指標づくりの背景
高橋義一（東京歯科大学）
2) 職域での歯科保健行動をQOL指標で評価することの期待と問題点
～実際の活動からみえてくるもの～
井手玲子（産業医科大学） |
| 2 | 5 | 第13回職域口腔保健研究会 自由集会（2005年2月 東京）
開催日： 2005年2月5日（土曜）13：30～16：30
会 場： 東京医科歯科大学 歯学部 特別講堂

テーマ： 職域口腔保健活動の実際 ー生化学的指標の導入ー
1. 一次予防を重視した歯肉辺縁貯留液検査
～歯周病のスクリーニングから口を起点とした健康支援へ～
埴岡 隆（福岡歯科大学）
2. 歯肉ポケット滲出液検査の導入による事業所での歯科保健管理効果について
新保秀樹（富士ゼロックス）
3. 唾液による歯周疾患のスクリーニング
野村義明（鶴見大学）
4. 歯科健診に歯周病唾液検査を追加して
三橋千代子（トヨタ自動車（株））
5. パネルディスカッション
活動の効果測定指標 ー生化学的指標の導入ー

<その他事項>
○世話人の追加
井手玲子、品田佳世子、埴岡 隆、森田 学、村松 淳
○代表世話人の交代
藤田雄三 → 加藤 元 |

		【2005年度（平成17年度）】
4	20	<p>第78回日本産業衛生学会（東京） 開催日： 2005年4月20（水）～24日（日） 会 場： 東京プリンスホテル 他 メインテーマ： 産業構造の変化と産業保健のあり方</p>
4	21	<p>第14回職域口腔保健研究会 自由集会 日 時： 2005年4月21日（木）14：00～20：00 会 場： 東京慈恵会医科大学1号館3階 テーマ： 口臭を科学する 1. 口臭を科学する 渋谷耕司（ライオン歯科衛生研究所） 2. 「息さわやか外来」における口臭の臨床報告 品田佳世子（東京医科歯科大学）</p>
10	6	<p>第15回職域口腔保健研究会 自由集会（2005年10月 東京） （第15回職域口腔保健研究会・第54回日本口腔衛生学会 自由集会） 開催日： 2005年10月6日 16：00～18：30 会 場： 東京品川区立総合区民会館「きゅりあん」</p> <p>テーマ： 産業歯科保健の現在（いま） ー多様な模索から見えてくるものー 話題提供： 職域におけるオーラルヘルスプロモーション（産業歯科保健活動）のあり方に関する研究 井手玲子（産業医科大学） 1. 歯科医師会としての取り組み 田中和宏（奈良県歯科医師会） 2. 大学としての取り組み 曾山善之（金沢医科大学） 3. 健診団体としての取り組み ー産業歯科保健その理想と現実ー 木村 誠（近畿健康管理センター） 4. 企業内歯科としての取り組み 萩原俊美（横浜銀行健康管理センター）</p>
		【2006年度（平成18年度）】
5	9	<p>第79回日本産業衛生学会（仙台） 開催日： 2006年5月9（火）～12日（金） 会 場： 仙台国際センター</p>
5	10	<p>日本産業衛生学会 歯科セッション ■シンポジウム テーマ： 歯科から健康習慣・メタボリックシンドロームを考える 開催日： 2006年5月10日（水曜）、13:10～16:15 会 場： 仙台国際センター 座長：市橋 透（(財)ライオン歯科衛生研究所） 村松 淳（東京歯科大学） 講 演： 今なぜメタボリックシンドロームなのか？ 歯科保健への提言 福田 洋（順天堂大学医学部）</p>
5	10	<p>■産業歯科保健フォーラム テーマ： 職域における歯科保健のあり方を考える ー産業歯科保健部会立ち上げにむけてー 開催日： 2006年5月10日（水曜）、16:30～17:30 会 場： 仙台国際センター 座長：加藤 元（日本アイ・ピー・エム） 品田佳世子（東京医科歯科大学） 1. 産業歯科保健のこれまでとこれからー産業歯科保健部会の設立を目指して 藤田雄三（神戸製鋼所） 2. 職域の歯科保健に期待すること 清水英佑（東京慈恵会医科大学） 3. 産業歯科保健における産業看護職の役割 西田和子（久留米大学医学部） 4. 産業歯科保健にかかわる歯科衛生士の役割 松木一美（日本歯科衛生士会） 5. 企業トップからみでの歯科保健事業 山中康裕（佐世保重工業） 指定発言 落合孝則（富士通）</p>
		<その他事項>
7		<p>・産業歯科保健部会が発足（産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会に次ぐ4番目の部会として発足）</p>